



報道関係者 各位

令和4年9月13日午前10時発表
問合わせ先

水島海上保安部 086 - 444 - 2967

航行安全課長 富樫 広太郎

玉野海上保安部 0863 - 32 - 3589

交通課長 新家 康弘

令和4年夏 岡山県海域の船舶海難及び人身海難の発生状況について

令和4年7月1日 ~ 8月31日

船舶海難6隻（昨年同時期12隻）

- 船種別では、プレジャーボート2隻、貨物船2隻、漁船1隻、その他1隻
- 海難種類別では、衝突2隻、乗揚1隻、運航不能3隻

人身海難13人（昨年同時期16人）

- 乗船中の人身事故が2人
- マリンレジャーによる海浜事故が10人・マリンレジャー以外の海浜事故が1人

注意1: 数字は、水島・玉野海上保安部管内の集計であり、岡山県の行政海域とは一部異なります。

注意2: 発生数は速報値であり、事故調査結果等により増減する場合があります。

1 主な船舶海難の状況

- プレジャーボート等小型船の事故
船外機の不具合による航行不能
- 貨物船の事故
岸壁への単独衝突

2 主な人身海難の状況

- 乗船中の事故
岸壁に着岸中の貨物船内において荷役作業員が負傷
シーカヤック操船中に病気(熱中症)を発症
- マリンレジャー中の海浜事故
浮き具に乗って遊んでいた遊泳者が風潮流の影響を受け、沖に流されて戻れなくなったもの
遊泳中の溺水
満ち潮により孤立し、帰還不能

○主な船舶海難事例

船種(全長)	海難種類 (海難原因) 発生日時場所	船舶海難の概要
プレジャーボート (6.14メートル)	運航不能(推進機障害) 令和4年7月9日 午後2時15分頃 倉敷市細濃地島南側海域	事故船舶は、遊漁のため、船長含む3名乗り組みで定係港を出港し、細濃地島南側にて錨泊し、船外機をチルトアップした状態で細濃地島に上陸し釣りを行っていた。 午後2時15分頃、帰港するため、船外機をチルトダウンさせようとしたが、作動しなかった為、運航不能となり118番通報したものの。
プレジャーボート (5.7メートル)	運航不能(部品の不具合) 令和4年8月21日 午後7時10分頃 玉野市宇野港内(田井沖合い)	事故船舶は、遊漁のため、船長含む5名乗り組みで定係港を出港し、宇野港田井沖にて漂泊しながら魚釣りを行っていたところ燃料が乏しくなったため、機関を停止させ、燃料を補給した。 午後7時10分頃、再度機関を起動させようとしたが、セルモーターが回らなかった為、運航不能となり118番通報したものの。

○主な人身海難事例

発生日時場所	概要
令和4年7月2日 午後13時50分頃 玉野市渋川海岸	事故者(小学1年生)は、渋川海岸において大人1名(男性)が付添い、別の子供1名と共にフラミンゴ型の浮き具に乗って遊んでいたところ、浮き具から別の子供が落水し、付添いの大人がそれに気を取られている間に、風潮流の影響を受け、沖に流され戻れなくなり、付近にいた遊泳者がゴムボートにより救助したものである。事故者に怪我等なし。
令和4年7月24日 午後4時頃 浅口市寄島町三郎島海岸	事故者親子(44歳女性、10歳男児)は、三郎島に徒歩で渡り、磯遊びをしていたところ満ち潮により海岸に戻れなくなり対岸の釣り人に救助を求め、その後水島海上保安部所属艇により救助されたもの。
令和4年8月18日 午後2時40分頃 倉敷市大畠地先	事故者4名(姉妹(38歳女性、36歳女性)、姉の子(9歳男児、8歳女児))は、岡山県倉敷市大畠所在の下電ホテルに隣接する砂浜から約15メートル地先まで続く海面に浮くマット状の遊具の沖側で海中に入って遊泳を始めたものの、子供2名が疲れて溺れかけ始め、これを姉妹が助けようとマットへ上げようとするも、子供がしがみつき上げられず、姉妹が溺水に至ったもの。付近の遊泳者により救助。(生命に別条なし)